山都町立潤徳小学校　学校だより

潤徳小伝説～永遠に～

潤徳小HP　令和５年６月１２日（月）　第１４号
QRｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

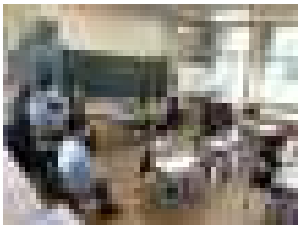
「学校へ行こう」週間を終えて

先週の「学校へ行こう週間」では、のべ三十人ほどの参観があったのではないかと思います。ありがとうございました。

これまで勤務した学校でも同様の取組をしてきましたが、保護者や地域の方には「（学校は）敷居が高い」という印象があるようです。特に一人で校内に入るのは大きな抵抗を感じられるそうです。そんなときは、誘い合って来ていただけると気楽で結果的に参観者も増えます。

私は、一日一～二名、ゼロの日もあるとみていましたが、プールそうじの日をマックスにリピーターもあり、予想以上の参加数でした。地域にもアピールし、今後の行事では、さらに多くの方に参観に来ていただけるようにしたいと思っています。

縮小写真でわかりにくいですが子どもたちも参観者も笑顔満載です！



脳は、どんなときに活動する（しない）のか？

マサチューセッツ工科大学の研究（学生を１週間モニタリング）によると、
○就寝・研究・宿題の時間は、脳の活動がさかん
○授業中やテレビを観ているときは、脳の活動はほとんど見られなかった
という結果が出たそうです。このことは、「睡眠」と「主体的に授業に臨む」ことの重要性を示しています。また、東北大学加齢医学研究所の研究によると、
○紙の辞書を使って単語を調べるときには前頭前野は大いに活動する
○スマホの検索で単語を調べるときは、前頭前野の活動は抑制される
という結果が出たそうです。このことは「思い出す」「文字で書いて表現する」作業がないと脳は活動しないということを示しています。今週「メディアチャレンジ」の取組を機会に、デジタルとの上手な付き合い方を考えていきたいものです。

潤徳抄Ⅱ

先週、県大会の後援依頼のため県・管内町教育委員会を回った。特に以前お世話になった町教委職員の方々と再会して話ができてよかった。さらに「先生やせましたね」「土日歩いておられるでしょう」などウレシイ言葉をかけられた。

▼先週末、ある卒業生（現在二児の母）と連絡をとると、すぐ応答してくれ「潤徳小ＨＰ観てね」と伝えると、しばらくして返信メールがあった。「先生らしいというか・・・懐かしいです」「（ＨＰの掲載写真を見て）先生があまりに変わっていなくてびっくりしました（笑）」「お話しさせていただいてお便りも拝読して、なんだかパワーをいただきました」など長文にわたっていた。ありがたいことだ▼世間では「教師はブラック」という話題だが、私は自信をもって「教師をやっていて良かった」と思う。卒業後も「つながり」をもてるのだ。夏に帰熊するタイミングで再会できるかもしれない。